



赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信12

2020年
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

今年1年を振り返って思うこと…。

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

部屋に吊り下げられたカレンダーも残す処一枚となり、年の瀬を迎え何かと慌ただしい今日この頃ですが、皆様方にはご健勝の事、心よりお慶びを申し上げます。今年は新型コロナに始まりコロナに終わる1年であったかの様に思われます。一時は落ち着くかの様に見えた感染も今や収まる事無く世界中が第三波の感染拡大に予断を許す事が出来ない状況はご承知の通りであります。

私達まちづくりや市民センターにおいても、行事やサークル等ご迷惑をお掛けしながら内容に検討を重ね、最低の範囲内に於いて実施してあるのが現状であり、今後下半期に於ける活動の見直しや予算執行の見直しについては、12月5日開催の理事会に於いて検討頂く予定であります。

また高齢化社会を迎えた中で共に生き生きとされている地域共生社会の実現は、各地に於ける取組課題の重要な一つであり、先日11月19日福井県若狭町から地域での健康づくりと支え合いを目指して支え合いリーダー研修会を開催するので、福祉の町名張市で先進的に取り組んでいる赤目まちづくりより是非説明を聞きたい旨、名張市を通じて要望があり私亀本と吉田センター長2人が、当地赤目の現況をお話しさせて頂きましたので、ご報告申し上げますと共に押し迫って来る寒さに負ける事無く新しい年をお迎え頂きます様ご祈念申し上げ、本年のお礼と感謝の一言と致します。

近鉄・赤目口駅トイレ清掃員 急募!!

赤目口駅前のトイレ掃除(約40分)一日2回(午前・午後)を担当して頂きます。1か月交代で、1か月間毎日の作業になります。報酬1回600円 男女・年齢不問、真面目な方 履歴書持参・後日面接等連絡致します。

名張市観光課・赤目まちづくり委員会 TEL. 63-0329

名張市総合防災訓練実施

防犯防災部 部長 脇田輝男

11月21日(土)赤目市民センター並びに錦生赤目小学校で名張市・赤目まちづくり委員会総合防災訓練を実施。名張市内全域に集中豪雨で、滝川が氾濫し避難勧告が発令されたとの想定で、市民センターに対策本部、感染症者室・障害者室を設置・運営訓練・二次避難者受け入れ訓練をしました。

また錦生赤目小学校体育館で、被災者の三角巾を使った救急対応訓練・感染症に関する講話・非常食の作り方・段ボールベットの組立てなど学習しました。赤目消防団、錦生赤目小学校も避難訓練を実施、当日は、森上浩伸副市長の視察・激励もあり、赤目町内で延べ1,712名の避難訓練参加がありました。



お知らせ

風呂屋橋修繕工事のため通行止め

令和2年12月14日(月)～19日(土)

朝9時～10時 15時～16時 21時～翌5時まで。

赤目地区ミニ集会 更生保護女性会

2021年1月16日1時半より市民センター大会議室

テーマ「地域での見守り活動を通じて」

講師 堀内節生(地域振興推進部 部長)

赤目市民センター歴史講座開催

11月3日(火)10時より大会議室で天誅組の乱「和州騒動絵図」(安本亀八作)の展示と講演(講師 松鹿昭二氏)を開催し、多くの方の受講を頂きました。



名張全世帯型プレミアム付・子育て応援商品券販売

“みんなで支えよう!名張のお店”

全世帯型プレミアム付商品券の引換は12月15日までです!

引換券をもって郵便局へ!!

対象者:名張市に住民票を有する世帯主の方

引換期間:令和2年11月2日(月)～令和2年12月15日(火)まで

引換場所:名張市内郵便局11か所(簡易郵便局を除く)

引換券をお忘れなく!!

利用期間:令和2年11月2日(月)～令和3年1月31日(日)まで

問い合わせ先:名張商工会議所 (TEL:0595-63-0080)

11.26 赤目竜神山トレッキング開催

秋晴れの清々しい11月26日(木)、赤目竜神山トレッキングが開催されました。9時に赤目市民センターに集合、消毒・検温・名簿作成の上、挨拶・注意事項等の確認・準備体操の後、出発致しました。星川集会所で、綺麗な銀杏の落ち葉を見ながらトイレ休憩の後、いよいよ険しい山道を渓谷沿いに七つ池に向いました。星川不動滝・線刻磨崖仏・石切り場跡・七色滝・千枚滝を經由して、11時前に七つ池(お池)到着、昼食を頂きました。

昼12時に七つ池を出発し、竜神山(高善山)三角点、竜神の祠・大岩さんを経て、柏原上出・琴平山古墳横に下山。アップダウンの約8キロの行程を経て、市民センターに13時40分到着。「赤目の知らなかった自然と人の触れ合いが、とても楽しいひとときを過ごせた。」との感想を頂きました。



たこあ 子ども凧揚げ大会

この度、第1回「たこあげ大会」を青少年育成部会で開催致します。
新しい年の初めに、元気な子供達と共に楽しい時間を過ごしましょう。

大人も子供も OK です。

「みんな待ってるよ、集まってね！」

- ・開催日 令和3年1月11日(月・祝日) 9時より
- ・場所 みんなのゆめひろば(赤目町柏原186)集合
- ・内容 凧・洋凧(ゲイラカイト)等を用意しますが、自前の凧を持参頂いて結構です。雨天の場合は、中止します。
- ・受付開始日 凧の準備のため12月25日(金)までに、下記申込書をご記入の上、赤目市民センターにお申し込み下さい。



赤目市民センター「子供凧揚げ大会」に参加を申し込みます。

ふりがな

名 前 / (年齢 歳) 男 ・ 女

住 所 / 電話番号 /

ご案内！！ ELP 健康講座（健康福祉部）開催

※『口腔機能を低下させないために』…講座、頭と体の体操

講 師 歯科衛生士 島岡育代さん

日 時 12月17日(木)10時より

場 所 赤目市民センター・大会議室

※マスク着用をお願い致します。

なお新型コロナウイルス感染防止対策のため中止になることがありますので、ご注意ください。

赤目駐在所建替え工事中

令和3年3月11日まで建替え工事になります。

ご用件がある場合は、名張署 62-0110 まで

12月7日～1月3日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
12/7	8	9 ふれあいサロン	10	11	12	13
14	15	16	17 サンサンカレー ELP 健康講座	18	19 旅ステサポータ 研修 延期	20
21	22 	23 ふれあいサロン 忍たま広場	24	25	26	27
28	29 赤目歳末警戒 ←	30	31	1/1 元旦	2	3 →
			年末・年始休館			

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密（密集・密接・密閉）を守りつつ運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意願ひ致します。

※子ども凧揚げ大会、人権学習会、ふるさとウォーク
あかめの詳細は、今後配布のチラシをご覧ください。

1・2 月の行事予定

- ★1/11(月・祝) 子ども凧揚げ大会 みんなのゆめ広場
- ★1/13(水) ふれあいサロン
- ★1/16(土) 人権学習会 大会議室
- ★1/27(水) ふれあいサロン、忍たま広場
- ★2/7(日) 工作教室 ★2/10(水) ふれあいサロン
- ★2/18(木) サンサンカレー、ELP 健康講座
- ★2/24(水) ふれあいサロン、忍たま広場
- ★2/27(土) 第17回ふるさとウォーク in あかめ



あかめ里山文化保全会の設立に伴い、会員募集！

環境部会では、赤目地域環境整備の一環として竜神山・柏原城址跡等の周辺里山の保全活動の事業を立ち上げました。令和2年9月に三重県緑化推進協会の認可、今後の整備活動を推進して下さるメンバーを募集します。

環境部会・あかめ里山文化保全会 宮本 TEL.63-0329

Vol.11 隠れた名所…赤目文化遺産 松明調進(たいまつちょうしん)

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

伊賀一ノ井松明講は、奈良東大寺二月堂において 毎年3月12日に行われるお水取り行事に、773年以上もの長きにわたり、松明(たいまつ)を送り続けている。3月1日から14日までの2週間にわたって、東大寺二月堂では修二会(しゅにえ・世界遺産登録)、いわゆる「お水取り」が行われる。修二会の正式名称は「十一面悔過(じゅういちめんけか)」と言う。十一面悔過とは、日常に犯しているさまざまな過ちを、二月堂の本尊である十一面観世音菩薩の宝前で、懺悔(ざんげ)することを意味する。天災や疫病や反乱は国家の病気と考えられ、そうした病気を取り除いて、鎮護国家、天下泰安、風雨順時、五穀豊穰、万民快樂など、人々の幸福を願う行事とされた。二月に修する法会という意味をこめて「修二会」と呼ばれるようになった。

行法としてのお水取りは13日の午前2時頃に行われ、その後内陣で韃陀(だったん)の妙法と言う水火の荒行が始まる。荒行に用いる松明は、古来赤目町一ノ井から調進されるのが習わし。宝治3年(1249年)、黒田庄領主の任にあった僧院主・聖玄法眼(しょうげんほうげん)が二月堂の二十七夜行法の松明料として、私領田6段を寄進した。

松明の作成は2月11日に松明講の人びとが朝早くから寺山に入り、樹齢90年から100年の檜(ヒノキ)1本を切り出し、極楽寺境内で約20束の松明に仕上げ、お水取り行事が行われる3月12日に東大寺まで運ばれます。二月堂に納められた松明は、一年間保管・乾燥され、翌年のお水取り行法で使用される。

江戸時代初期の著書「伊水溫故」にも、伊賀一ノ井の地に住し、後に若狭の南無観長者と協力し、東大寺二月堂を再興した道観長者の開基になると記されている。長者亡き後はその遺言により、一ノ井の住民達によって引き継がれ、現在に至る。二月堂の「火」と「水」の祭典に際し「火」を送る伊賀と「水」を送る若狭の、古き時代より変わりなく続いている全国でも珍しい行事。昭和63年から、昔のままの経路約35kmを歩いて奉納出来ないかと考え、全工程の3分の1を「昔のままで歩く行事」を復活。2月11日松明のヒノキの切り出しと、3月10日に安全祈願のお渡りが行われ、12日に極楽寺から徒歩で山道を三重と奈良の県境となる峠を超え、笠間地内で「笠間の郷を想う会」のおもてなし朝食を頂き、バスで奈良市内に向かい、午前10時半到着予定。東大寺南大門までは、30分程歩き、二月堂にて松明を奉納します。

